

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	保育者論					授業形態	講義		
科目コード	750128	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山田 裕司								
授業概要	<p>保育者に求められる姿勢・役割、資質・能力について学ぶことを目的としています。授業では、保育者の「制度的位置づけ」、「社会的役割」や「倫理」について学ぶとともに、保育者としての基本的な資質・能力、責任等を学びます。なお、保育者の基本的な資質として、次の点を重点的に講義します。</p> <p>「子どもを理解する力」、「子どもの育ちを援助する方法」、「保護者や家庭・地域との連携・協働」。</p> <p>保育者としての役割・資質・能力の学びを通して、これから保育者になるにあたっての自らの課題を認識すると共に、保育者としての意欲や自覚を養います。</p>								
関連する科目	保育原理、保育・教育課程論／保育の計画と評価、保育内容総論								
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。</p>								
授業計画 【第1回】	1. 保育者論 保育者としての姿勢や役割、制度的な位置づけについて、保育所保育指針等から学びます。								
授業計画 【第2回】	2. 信頼・自信・自立の構築-自己制御と社会的発達 保育者と子どもたち、保護者、保育者間の信頼や関係性の構築について、その必要性和子どもの成長との関連性を学びます。								
授業計画 【第3回】	3. 信頼・自信・自立の構築-子どもの選択と自立した遊びの支援 保育者と子どもたち、保護者、保育者間の信頼や関係性の構築について、その必要性和子どもの成長との関連性を学びます。								
授業計画 【第4回】	4. 信頼・自信・自立の構築-小グループ・個別のかかわり・保育者の位置取り 保育者と子どもたち、保護者、保育者間の信頼や関係性の構築について、その必要性和子どもの成長との関連性を学びます。								
授業計画 【第5回】	5. 言葉・コミュニケーションを支え、広げる-子ども同士の会話を支える 子どもの活動と保育者の援助について、ケーススタディを行います。								
授業計画 【第6回】	6. 言葉・コミュニケーションを支え、広げる-保育者が子どもの声を聴くこと 子どもの活動と保育者の援助について、ケーススタディを行います。								
授業計画 【第7回】	7. 言葉・コミュニケーションを支え、広げる-感受性豊かな応答 子どもの活動と保育者の援助について、ケーススタディを行います。								
授業計画 【第8回】	8. 学びと批判的思考を支える-好奇心と問題解決の支援 子どもの主体性や学ぶ姿勢を育むための保育者の援助方法について学びます。								
授業計画 【第9回】	9. 学びと批判的思考を支える-お話し・本・歌・言葉遊び 子どもの主体性や学ぶ姿勢を育むための保育者の援助方法について学びます。								
授業計画 【第10回】	10. 学びと批判的思考を支える-調べること 子どもの主体性や学ぶ姿勢を育むための保育者の援助方法について学びます。								
授業計画 【第11回】	11. 学び・言葉の発達を評価する-評価の活用 子どもたちの成長過程を振り返るための手法（評価方法）について学びます。								

授業計画 【第12回】	12. 学び・言葉の発達を評価する-言葉の発達に関する評価 子どもたちの成長過程を振り返るための手法（評価方法）について学びます。
授業計画 【第13回】	13. 保育者にとっての快適環境 保育者の労働環境と資質向上が施設全体の質の保証につながることを学びます。
授業計画 【第14回】	14. 保護者とのセンスある会話 保育者の労働環境と資質向上が施設全体の質の保証につながることを学びます。
授業計画 【第15回】	15. 保育者の個性を活かす 保育者の労働環境と資質向上が施設全体の質の保証につながることを学びます。
授業の到達目標	1. 保育者に求められる資質・能力を学び、保育・教育者としての意欲・自覚を身につける。【関心】 2. 保育者に求められる資質・能力を学び、保育・教育実習に向けた自己の課題を把握する。【判断】 3. 保育・教育者として、子どもを理解し、子どもの育ちを援助する方法を学ぶ。【知識・技能】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修 【予習】	授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示します。次の授業までに確認してください。 また、授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。
授業時間外の学修 【復習】	授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示します。次の授業までに確認してください。 また、授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。
課題に対する フィードバック	小テスト、レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲（授業中）-50点 2) 小テスト及びレポート-20点 3) 最終試験-30点
テキスト	『保育者のための50のキーワード』（1,793円税込）荒井洸 著
参考書	『エレン・ケイ「児童の世紀」より ことばの花びら』（1,944円税込）荒井洸 著 『保育がもっと好きになる 保育に生きる珠玉のことば』（1,296円税込）荒井洸 著
備考	